

原田治展

「かわいい」の発見

Osamu Harada: Finding "KAWAII"

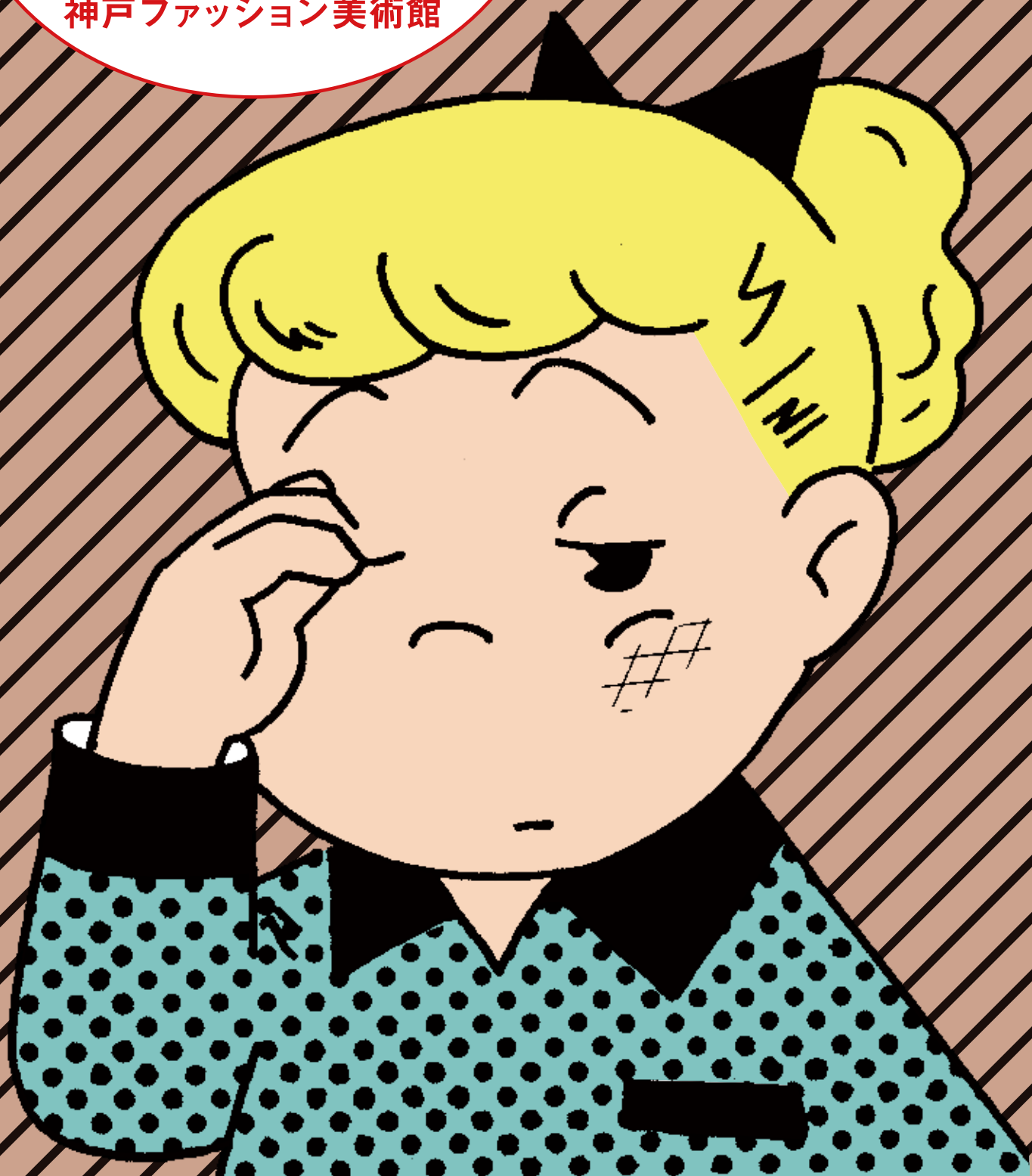
2021 7/3(土) - 8/29(日)

※新型コロナウイルスの影響で変更の場合があります

10:00-18:00(入館は17:30まで)

休館日:月曜日、8/10(ただし8/9は開館)

神戸ファッション美術館



OSAMU
HARADA

観覧料:一般 1,000(800)円、大学生・65歳以上 500(400)円、高校生以下無料 ※神戸市内在住の65歳以上の方は無料

※カッコ内は有料入館者30人以上の団体料金 ※小学生以下は保護者(大学生以上)の同伴が必要 ※神戸ゆかりの美術館、小磯

記念美術館の当日入館券(半券)で割引 主催:神戸ファッション美術館、神戸新聞社、毎日新聞社 後援:サンテレビジョン、

ラジオ関西 協力:コージー本舗、トムズボックス、パレットクラブ、design studio paperweight 展示協力:大阪樟蔭女子大学

企画協力:世田谷文学館 企画制作:コスモマーチャンダイズィング 会場設計:五十嵐瑠衣 アートディレクション:服部一成

 神戸ファッション美術館
KOBE FASHION MUSEUM
<https://www.fashionmuseum.or.jp/>

【ご来館に際してのお願い】●神戸ファッション美術館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下のとおりご協力をお願いいたします。
 ・マスクの着用をお願いいたします。・入場前の手指のアルコール消毒にご協力ください。・入場前の検温にご協力ください。・他のお客様との距離をあけてご鑑賞ください。・展示室内での会話はお控えください。・展示室内の混雑を避けるため状況に応じて入場制限を行う場合があります。予めご了承ください。●37.5℃以上の熱がある方・体調がすぐれない方はご入場をお控えいただきますようお願いいたします。

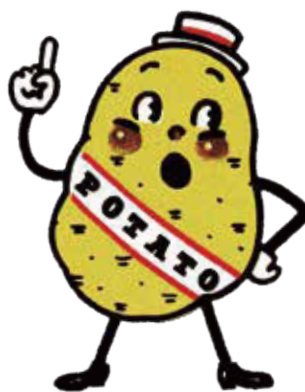
表面図版 グリーティングカード(1970年代)より



スクールバッグ(OSAMU GOODS®)
1992年
©Osamu Harada / Koji Honpo



ショップバッグvol.47(OSAMU GOODS®)
1989年
©Osamu Harada / Koji Honpo



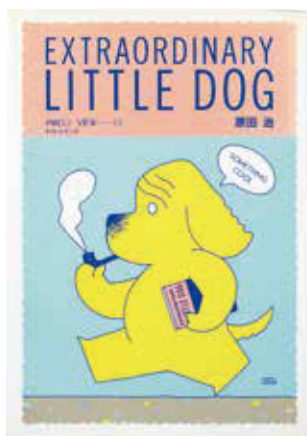
カルビー「ポテトチップス」など
マスコットキャラクター
1976年 作：原田治



ミスタードーナツ
キャンペーン用キャラクター
1986年



HUMPTY DUMPTY
(OSAMU GOODS用原画)
1970年代後半-1980年代前半



『EXTRAORDINARY LITTLE DOG』
作品集
1981年 PARCO出版



浅田彰『逃走論』
1984年 筑摩書房
装幀：原田治



「an'an」第47号 1972年 平凡出版
アートディレクション：堀内誠一
表紙イラストレーション：原田治

OSAMU GOODSよ永遠に

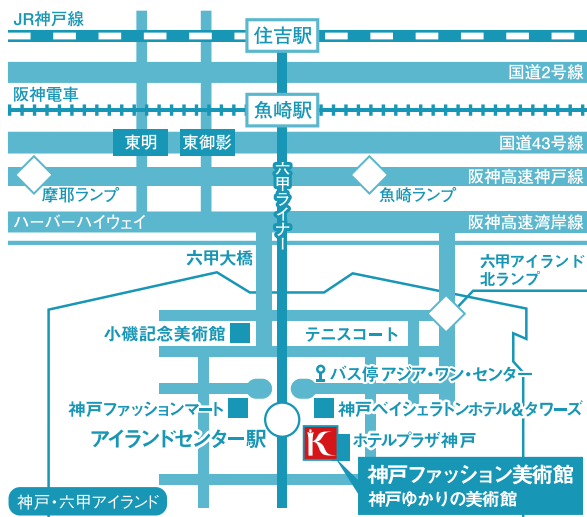
1970年代後半から90年代にかけて、女子中高生を中心に爆発的な人気を博した「OSAMU GOODS (オサムグッズ)」の生みの親、原田治(1946-2016)。

50-60年代のアメリカのコミックやTVアニメ、ポップアートなどから影響を受けたイラストレーション——とりわけ、簡潔な描線と爽やかな色彩で描かれたキャラクターたちは、その後の日本の“かわいい”文化に多大な影響を与えました。

没後初の全国巡回展のひとつである本展では、イラストレーターとして活動するきっかけとなった、1970年代、雑誌「an'an」の仕事をはじめとして、広告・出版・各種グッズなど多分野にわたる作品を中心に、幼少期～20代前半の初期資料や、エッセイ集『ぼくの美術帖』関連資料も展示し、時代を超えて愛される、原田治の全貌に迫ります。



原田治(1946-2016) 東京生まれ。多摩美術大学デザイン科卒業。1970年、当時創刊された「an'an」でイラストレーターとしてデビュー。1976年、「マザーグース」を題材にしたオリジナルのキャラクターグッズ、「OSAMU GOODS」の制作を開始、女子中高生の間で大人気となる。1984年、ミスタードーナツのプレミアム(景品)にイラストを提供、以降シリーズ化され一世を風靡する。1997年、イラストレーターを養成する「バレットクラブスクール」を、生まれ育った築地に開設。主な著書に『ぼくの美術帖』他。



アクセス

【電車ご利用の場合】

- JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」で六甲ライナー乗換、「アイランドセンター駅」下車、南東徒歩3分

【バスご利用の場合】

- 新幹線「新神戸駅」より、みなと観光バスにて「神戸ベイシヤトンホテル」下車、南東徒歩5分
- JR「三ノ宮駅」より、みなと観光バスもしくは日交シティバスにて「神戸ベイシヤトンホテル」下車、南東徒歩5分
- JR「住吉駅」より、みなと観光バスにて「神戸ファッションプラザ前」下車、南東徒歩5分
- 阪急「御影駅」・阪神「御影駅」より、みなと観光バスにて「アジア・ワン・センター」下車、南東徒歩5分

【駐車場のご案内】

- お車の方は、美術館地下の神戸ファッションプラザ駐車場をご利用ください(1日最大550円)
※駐車場との提携はしていません。

同時開催

ドレスコレクション「スポーツの祭典@神戸ファッション美術館」
当館の貴重な収蔵品の数々をご覧ください。

K 神戸ファッション美術館
KOBE FASHION MUSEUM

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中2-9-1
TEL 078-858-0050 FAX 078-858-0058
<https://www.fashionmuseum.or.jp/>

